

2025年度 学校関係者評価会議

1. 学校関係者評価の概要

1) 目的

- ①卒業生、関係業界、保護者・地域住民などの学校関係者が、健和看護学院の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針（以下4点について評価を実施する）

- 自己点検・評価報告書を基に自己評価の結果の内容が適切かどうか
- 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- 重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等が適切かどうか
- 学校運営の改善に向けた取組が適切かどうか

2. 学校関係者評価委員会 名簿（敬称略）

八木 和也	公益財団法人健和会	本部人事部長
三ヶ田 まゆみ	公益財団法人健和会	大手町リハビリテーション病院 副看護部長
山田 麻紀	健和看護学院同窓会つつじの会	
荒川 優子	地域住民 代表	
渡邊 千春	保護者 代表	

3. 開催日 2025年5月27日（火）18：00～ 19：00

4. 学校関係者評価委員会報告

項 目（3.0満点）	評価・意見
I 教育理念・教育目的 自己評価：3.0 ＜23年度2.9＞	○ 教育理念・目的は、設置母体の理念を受け、看護師としての確かな知識・技術・態度を習得させることと、『人権を重んじ、平和を願う』社会人としての教育を実践することが明確になっています。 ○ ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）各大項目の学生自己評価としては、95%～100%が「良くできた」「できた」と評価しており、学生の達成度としては高く、学生の学習指針となっていることは評価できます。また、学生自己評価の回収率も前年の40%から79%に改善していました。
II 教育目標 自己評価：3.0 ＜23年度3.0＞	○ 新カリキュラムとなり、3つのポリシー（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）が明確で学生にとって分かりやすいと思います。
III 教育課程経営 自己評価：2.8 ＜23年度2.7＞	○ 学生への教育は学院の教員だけでなく、臨地実習先の指導者も大いに関りがあり、合同指導者会議や実習指導者会議を通して実習状況や学生状況を共有していることが分かりました。 ○ 臨地実習施設が学院の教育理念・目的・ディプロマポリシーを理解しているかは分かりかねると回答されていました。新カリキュラムとなった際に合同指導者研修で説明を行ったようですが、指導者も交代があるようなので、その都度の説明が必要と思われます。また、法人内だけに留まらず、外部の実習先にも学院の理念等を理解してもらえよう働きかけることも必要だと思います。
IV 教授・学習・評価過程 自己評価：3.0 ＜23年度2.9＞	○ 保護者の立場から学生を見ると課題が多いと感じる時がありました。それぞれの授業で課題が出されている場合などあるようです。実習前の課題と日々の課題が重なっていたようなので、集中しないよう把握していただきたいと思います。 ○ 外部講師の学生による授業評価を Google クロームでしているようです

	が、平均回収率が 66%という報告がありました。平均なので回収率の低い授業科目もあると思われます。評価方法をもう一度考えてはいかがでしょうか。
V 経営・管理課程 自己評価：2.9 <23 年度 2.9>	○ 24 年度の退学者、原級留置は多いと感じました。昨年度も退学者、原級留置ともに多いと感じましたが、退学者は減っており、理由は「進路変更」が多いとのことですが、退学に進まないようなフォローが大切だと思います。1 年生の再履修生が多いようですが、2 年生になっても大丈夫なようにフォローをしてもらいたいと思います。地道な指導をお願いします。学生の行動変容に期待しています。 ○ 経済的な理由で奨学金を受けている学生が多いようですが、本人は奨学金の詳細を理解出来ていない場合もあるようです。返済義務があることなど十分に理解してもらう必要があります。
VI 入学 自己評価：3.0 <23 年度 3.0>	○ ホームページがリニューアルされ、願書請求やオープンキャンパスの参加申し込みなど分かりやすくなっていました。 ○ 2024 年度の入学者が減少し、2025 年度は対策を講じたようですが結果には繋がっていません。大学が増え、少子化が進む中で大変だとは思いますが、他の学校との差別化を図り、入学増に努めて欲しいと思います。待っていても来ないのであれば、今以上に動きましょう。 ○ 入学前に高校の振り返り（5 教科）として、e ラーニングを課題としているようですが、今後は教科の見直しをするようなので変更した際には報告をお願いしたいと思います。
VII 卒業・就業・進学 自己評価：2.8 <23 年度 2.4>	○ 学院には看護師を目指す学生を育ててもらい、入職に繋げてもらっています。昔は高給と言われていましたが、現在はそうでもなく賃上げを望む声広がっていることは認識しています。 ○ 卒業時アンケートを見させていただきました。ほとんどの学生が健和看護学院に入学して良かったと回答しているのは凄いことだと思います。また、「学院生活が楽しかった」「先生が優しい」などのコメントには嬉しくなりました。これだけ卒業時の満足度が高いので、入学生増に繋がるような売りがあると思います。これからもニーズに応えられる卒業生を輩出してください。
VIII 地域社会 / 国際交流 自己評価：2.6 <23 年度 2.5>	○ 「海外からの帰国学生の受け入れ体制を整えている」の項目も「2 点」でしたが、要望がないだけで帰国子女の入学は可能ではないでしょうか。体制はないが要望があれば応える姿勢であればいいと思います。 ○ 「国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている」の項目が「1 点」と評価されていましたが、学生が調べたいことを検索できる環境や図書室に本を置くなどは出来そうに思います。
IX 研究 自己評価：1.3 <23 年度 1.3>	○ 昨年度と同じ評価になっています。研究活動や学会参加など 21 件の参加予定でしたが、7 件に留まったのは理由があると思います。十分な時間が確保できないのかもしれませんが、出来るところから一つずつ始めてください。来年度の報告に期待します。